



# MARIANISTES

## —— マリアニスト ——

### 復活したキリストは聖母に現れたのでしょうか？

マリア会 山崎 善彦

聖書の中には、復活したキリストが聖母にお現れになったとは、何処にも書かれていません。実際には、どうだったのでしょうか。

マタイには、マグダラのマリアともう一人のマリアに復活したキリストが現れた(28章)と書いてあります。

マルコでは、「イエスは週の第一日目、朝早く復活して、まずマグダラのマリアに現れた」(マルコ 16:9)とあります。

ルカでは、まず天使が墓に来た婦人たち(マグダラのマリアとヨハンナとヤコブの母マリア)に、キリストは復活なさったと告げています。(ルカ 24:1~11)

ヨハネ福音書では、キリストは墓に来たマグダラのマリアに現れています。(ヨハネ 20:11~18)

使徒言行録にも、復活したキリストが聖母に現れたという記事はありません。

また、パウロは、復活したキリストは「ケファに現れ、次いで12人に現れたということです。それから500人以上の兄弟に同時に現れました。そのうちの大多数の人は、今なお生き残っていますが、死の眠りについた人もいます。その後、ヤコブに、次いで使徒である者すべてに現れ、最後には、月足らずで生まれた者のような私にも現れてくださいました。」(コリント 15:6~8)と書いていますが、聖母のことは一言もありません。

このようにしてみると、聖書の中には復活したキリストが聖母マリアに現れた記事は一つもありません。

それはどうしてでしょうか。

復活したキリストは、まず聖母に現れるのが自明の理と考え、書かなかったのでしょうか。

パウロが言うように、聖母において生きておられるのはキリストであるので、敢えて書き留めなかったのでしょうか。

そこで、次のように考えてみたいと思います。

御子のご託身の時、神は天使ガブリエルを遣わして、マリアのご承諾を求められました。これに対してマリアは、「わたしは主のはしためです。おことばどおりなりますように」(ルカ 1:38)とお答えになりました。

このマリアの承諾の言葉によって、永遠の昔から神のご計画の中にあつた救いのみ業がスタートしました。

人となったみ言葉は、3年間、神の国の到来について人々に教え、最後にご受難と復活によって救いのみ業が完成されました。

スタートにおいてマリアの承諾を求められた神は、そのみ業が完成した時点で、マリアに報告なさったことは自然の成り行きと思われれます。

## 海外だより

### 神のみわざをたたえて

汚れなきマリア修道会

高尾 チェ

去る5月25日、午後5時から本会創立記念日と共に、FMI 韓国進出30周年記念の祝いがソウル本部修道院で開かれた。

韓国 SM のブラザー方、MLC 総評議会、ソウル、仁川（インチョン）各評議会の皆様、そして姉妹たちと招かれた日本の3人のシスターが一堂に集い感謝のミサをささげ、食事をともにして喜びを分かち合い、和やかな家庭的雰囲気のうち楽しいひと時を過ごした。

目標に向かって歩み始めた当初、今あるマリアニスト家族の姿を誰が想像できただろうか。社会的にも教会的にも大きな変化をもたらしたこの30年間。風に吹かれ、波にゆられながら、姉妹たちと共にしてきた数々の思い出がなつかしく蘇ってくる。

現在、姉妹たちは11の共同体に分かれ、教会活動、幼児教育、MLC 同伴、社会福祉活動に、それぞれ信徒たちと一致協力して精一杯奉仕している。若いシスターたちがマリアニストの召命によるこんで生きている姿を見て、私たちは大変うれしく勇気づけられた。

2年前には2人のシスターが印度に派遣され、国際共同体の中で働いている。キリストのたとえ話のように、小さなからし種が次第に成長し実を結びつつある。これも多くの方々の祈りとごせいのお陰である。

すべては神のみ業であり、私たちはマリアの宣教者に過ぎない。



## 韓国巡礼・・・その5・・・

ジンナ・チェリ 古畑久美子

最終日、私はひとり早起きをして、朝食前に、明洞聖堂のミサに与りました。早朝にもかかわらず、ミサが始まる頃には、大きな聖堂の椅子に空席が目立たなくなっていたのにはびっくりしました。ひたすら、この旅に参加できたことへの感謝と、今日という日の無事を祈りました。残念なことに、修復工事中のため、建物全体を見ることは出来ませんでした。ソウル大司教座教会、ネオゴシック様式の教会、韓国最初の殉教者の家があった所に100年前に建てられたという明洞大聖堂の荘厳な聖堂内部は、自ずと祈りの世界に導くものでした。

ここで一旦富来神父様、青木神父様と別れ、私たちは、Sr. 高尾の案内で、女子修道院に向かいました。バスが修道院近くになると、シスターが身を乗り出して、女学生のように運転手さんに道案内する姿がほほえましく、シスターの韓国修道院への思い入れの深さを知る思いがしました。

シスター方の手作りのお昼ご飯に一同感謝しました。院内の細やかな歓迎の仕度に、なぜか初めて伺った気がせず、暖かな懐かしさを覚えました。

その後、最後の訪問先であるマリア会男子修道院に伺いました。そこで、この4日間の無事と各巡礼地でお世話になった方々への感謝、それぞれの信仰の確認を込めてミサに与りました。

聖堂内にはシャミナード神父様の木枢片もあり、私たちマリアニストの祈りをより深いものへと導いて頂けたように思いました。

その後、修道院で夕食をいただき、楽しく、美味しいひとときを過ごし、巡礼のしめくくりとなりました。



## 連載 マリアへの奉獻（8）

マリア会司祭 富来 正博

前回まで奉獻について考察してきました。以上のことを要約してみましよう。

1. 奉獻は自分にとって大切なもの、自分自身を神に捧げる礼拝行為です。
2. 奉獻は人間の発意によって行われるのではなく、人間を救い、ご自分の生命に参与させようと望まれる神のご意志にもとづくものです。
3. 神は、罪によって神との交わりを絶たれた人間を救うため、おん子をこの世にお送りになりました。
4. 見えない神の像であるおん子イエス・キリストは十字架の奉獻を通して人間を救われました。
5. イエス・キリストの奉獻は父なる神と人間に対する愛の表れです。
6. マリアはおん子イエス・キリストの奉獻に合わせてご自分を捧げられました。それは被造物として最高の奉獻でした。
7. 人間はイエス・キリストの奉獻に参与することによって救われます。この参与は洗礼の秘蹟によって実現します。洗礼は人間にとってもっとも基本的な奉獻であり、他の奉獻はここに基礎を置いています。
8. 奉獻は本来神に対してのみなされるものです。

以上のことを念頭に置きながら「マリアへの奉獻」について考えてみましょう。

まず気づくことは、マリアへの奉獻という言葉を使いながらも、マリアを礼拝の対象にしてはいないということです。



奉獻式

奉獻の恵みに感謝して・・・

## 新奉獻者の言葉

マリア テレジア 原 みどり (ミレニアム)

年末のあわただしい中、特別の研修までしていただき、待ちに待った奉獻式は、2009年1月18日、調布の晃華学園聖堂において、マリアニスト家族の集いの中で厳かに行われました。

自分が奉獻者でしたので、極度に緊張してしまいましたが、堅信式以来のお恵みを感じ、戦慄を覚えました。

私は幼少の頃から「汚れなきマリア会」のシスターにお世話になりながら成長しましたので、奉獻出来たことは大きな喜びです。そして、奉獻することでマリアニスト正会員になった責任と誇りを自覚しました。今までマリアニストの定義、目標などを勉強してきましたが、奉獻したことにより、スタート時点に立ったと思っております。祈りについては、毎週ミサの前にロザリオを聖職者のために祈っております。

奉獻の恵みを頂いたからには、教会の内外でキリスト者として信仰の証人に近づけるようにしたいと思います。言葉を発する前に熟慮し、信仰を感じられる言葉遣いができるように、マリア様にお取り次ぎを願いたいと思います。

最後に、私たちの奉獻のためにお祈り下さり、ご尽力下さった方々に感謝申し上げます。

マリア エリザベト 野寺 侑己 (ステラマリス)

この度は奉獻のお恵みに預かり大変嬉しく心より感謝いたしております。

ステラ マリス共同体に加えていただいてから3年が経ちました。信仰の絆に結ばれて、毎月楽しく有意義なひと時を過ごしております。お祈りや語りを通して、何事も神の御旨として受け入れていくことの意味を理解することが出来るようになってまいりました。

奉獻を一層マリア様に近づくことと受

け止めて決心いたしましたので、身の回りの出来事や教会での様々な仕事をマリア様のようにためらい無く受け入れるよう努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。有難うございました。

## お知らせ

### シャミナード師生誕 250 年祭について

マリア会 清水一男



私たちマリアニスト家族は、2年後の2011年4月8日に創立者、福者シャミナード師の生誕 250 年の記念日を迎えます。

マリア会の総本部は、2011年の一年間を私たちが一つになって“シャミナード年”として祝うことを提案しました。そして、“私たちはシャミナード年をどのように祝ったらいいか”について考え始めるよう促し、いくつかの示唆を与えています。

- ①それぞれの国のマリアニスト家族は、一緒に進めることができる計画を考える。
- ②マリアニストのカリスマを強調するような計画を優先する。
- ③青年司牧や召命司牧のための好機とする。
- ④出版、メディアなどの手段を活用して、シャミナード師やそのカリスマを教会や社会に広く知らせる。
- ⑤地理的に近い国がある計画を一緒にする。

日本のマリアニスト家族も、シャミナード年をふさわしく祝うために準備を始めましょう。

### 編集後記

最近、いろいろな現象が起きています。

ミツバチがいなくなったとかデパートやスーパーの売れ行きが悪いとか。そして、それに対抗するため、品物を安くするとか、自動車の売れ行きが悪いからといって大勢の若者たちが退職させられている。

これらの影響で、悪い事も起きている。万引きやひったくり、強盗、はては殺人まで出始めている。

一方、世界では、10億人の人が食料不足で空腹のまま眠りにについている。ケニヤでは干ばつによる食料不足がある。国連はこの事実を知っているのでしょうか？あまりにもむごたらしいと思わないのでしょうか？自然災害だ、紛争が原因だ、立地条件が悪いなどと簡単にカタズけられる問題でしょうか？国連は、何とかしてこれらの人を助ける手立てを考えてほしいと思います。

H・S



発行 『マリアニスト』編集部  
気付 「汚れなきマリア修道会」  
町田修道院 清水一男神父  
〒194-0032  
東京都町田市本町田 3 0 5 0 - 1  
TEL 042(722)6301  
FAX 042(725)6317  
HP: <http://www.marianist.jp/>